

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日： 6 年 2月 16日

公表： 令和 6年 2月 28日

事業所名 児童デイサービス七彩ぷらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・静養室にカーテンを使用して仕切って工夫しています。 ・クールダウンするなどの時は静養室をうまく使えていると思います。	今後も利用人数に合わせて2部屋をうまく使い分けながら過ごせるよう工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・出来るだけ多くの職員配置を行っています。	急な人数変更に対応できないこともありますが、事前に把握できている事には対応できるよう、工夫してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	・風除室にマットを敷いています。	利用者の状況に合わせて、改修や必要な用具の購入を検討します。利用者の成長に合わせた導線、スペースなどを考慮し、工夫してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	・その都度話し合っています。	改善出来ているかの確認を話し合うことが少ないので、会議の場で話し合う時間を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・具体的に改善案がまとまったものについては改善に取り組んでいます。	その都度振り返って各職員が意識して取り組めるようにしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・ホームページにて公開しています。	ホームページにて公開していることを会報などで周知してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		現状行っておりません。必要に応じて検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・ペアレントトレーニング養成研修、身体拘束虐待研修、各種社内・社外研修を受けています。 ・研修後は職員間でフィードバック研修も行っています。	研修やフィードバック研修を実施して終わりではなく、日々の支援の中で意識して取り組む事ができるようにしていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		・計画更新時にご家族へ要望の手紙をお願いしています。	今後も、書面や口頭にてニーズを伺い、支援につなげ計画を作成できるよう努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4		現在使用しておりませんが、必要に応じて実施いたします。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	・児童の特性に合わせて活動を提供しています。	話し合いを充実させ、職員で意見を出し合いながら情報共有できるよう努めます。
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	・固定化しないよう話し合っています。	利用者の利用日や特性・年齢等考慮して固定化しないよう、工夫してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	4	・休日や長期休暇は外出の機会を増やしています。	室内での活動と課外活動をうまく取り入れながら、平日も休日もメリハリをもって過ごせるよう工夫してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		・児童の状況を職員間で情報共有しています。	個別活動の際に活動を提供したり充実した時間を過ごせるよう工夫してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	・支援前に申し送りを行ない、確認しています。	集団活動の流れや1日の流れを予想しながら役割分担をして、見通しをもって支援できるよう工夫してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	・決められた時間では行っていないが共有しています。 ・申し送りを行って記録しています。 ・休みだった職員には、翌日伝えて共有しています。	確実に情報共有できるよう努めてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	・わかりやすい記録を心掛けております。	支援の検証・改善につなげられるよう、記録を正しく取ることを心掛けてまいります。

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	・計画更新時に行っています。	今後も適宜行ってまいります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1	・基本適切に出来ています。	ガイドラインを意識した支援が出来るよう心がけてまいります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		・児発管が参加しています。	今後も、児発管またはふさわしい職員が参加できる体制を整えていきます。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		・学校毎の対応に沿って、連携しています。	学校との情報共有も行いながら、保護者の方とも情報共有し、安全に来所することが出来るよう心がけてまいります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7		・現状受け入れがありません。	必要に応じ対応してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		・情報共有ができた利用者さんもいます。	ご家族や相談員さんを通して、今後の支援の参考になるような情報をいただけるよう、働きかけていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5		・電話等で連絡を取っていた利用者さんもいます。	必要に応じ情報の提供を行ってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		・研修の際、講師の先生から助言をいただくこともあります	引き続き情報や助言を頂いてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7			必要に応じて検討してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		7			情報を集め、来年度は参加したいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・連絡帳や口頭で、伝えあっています。	日々の様子だけではなく、課題の中で成長していることなどもお伝えし、共通理解が出来るよう努めてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4			現状行えておりません。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		・契約時に行っています。	変更点や付け加えがあった際には速やかにお伝えできるよう心がけます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		・お悩みや相談を伺った際は、職員間でも共有し、必要に応じた対応が出来るようにしています。	今後も都度お悩みや相談に応じられるよう努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7			ご家族のニーズに応じて検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1			苦情には真摯に対応し、改善につなげてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・会報を定期的に発行しています。	今後も会報を発行し、周知してまいります。ホームページでも発信しています
	35	個人情報に十分注意している	7				今後も十分注意してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・トラブルがあった際などは特に伝える際配慮しています。	よりよい情報伝達のため、今後も努力してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7			現状行えておりません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4			周知の方法を工夫してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・年2回行っています。	なるべく多くの児童が参加できるよう、曜日など工夫してまいります。また、書面や会報などで訓練を行ったことの周知も行ってまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			・定期的に研修を行っています。	今後も定期的な研修を行い、知識を深めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2		・定期的に研修を行っています。	今後も定期的な研修を行い、知識を深めてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6		・ご家族からの情報を基に実施しています。	現状アレルギーをお持ちの方はおりませんが、必要時には対応してまいります。

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	4	その都度作成し、事例を基に情報共有し、再発防止に努めていきます。
----	---------------------------	---	---	----------------------------------

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和 6年 2月 28日 6 年 1月 22日～ 6年 2月 10日

事業所名 児童デイサービス七彩ぷらす 保護者等数(児童数) 25 回収数 21 割合 84

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3				人数や子どものニーズに合わせて工夫して過ごせるようにしていき
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1				利用人数に合わせて適正な職員の配置となるよう工夫してまいります
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	1	7	場所的に仕方ないと思う。	利用者の状況・ニーズに合わせて必要な改修や用具の購入を検討し
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	21					書面にてニーズや課題の確認を行っています。面談は実施方法を検討してまいります。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	20			1		固定化しないよう、職員間で話し合いの場を設け工夫してまいります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1	1	11	なくても大丈夫です。	現状考えてはいたしません。要望や機会があれば検討したいと思いま
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1				利用契約時に行っています。今度も丁寧な説明を心がけてまいります
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21					送迎や連絡帳にて、必要な場合は電話連絡にて状況を伝えあっています。細かくお伝えできるよう心がけてまい
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2				面談は行っていません。今後も検討しますが、送迎で会った際や電話で対応させていただ
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	4	9	難しそうな気がする。	要望があれば、保護者参加型のイベントに希望者のみ参加、という形で対応させていただ
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20				1	苦情があった際には迅速かつ適切に対応させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21					連絡帳、送迎の際、電話で等、事柄や状況によって適切な方法で情報をお伝えできるよう配慮していきま
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	4				定期的に会報をお渡ししていますが、内容や頻度を工夫してまいりたいと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	18				3	今後も十分に注意してまいります。	
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1		6		周知の方法を検討してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			7		年に2回実施していますが、参加できなかった方へも周知できるよう、工夫してまいりま
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19	2				今後も子どもたちが楽しみに通う事ができるよう、支援内容やレクリエーションを考え、
	18 事業所の支援に満足しているか	21					皆様の意見を踏まえ、充実した支援を提供できるよう心掛けてまい

※ i

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を担うスタッフの留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の旧音楽療法支援管理責任者が作成する。

※ ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期

